

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

Anniversary
2014
60th

真剣味



中京大学 | 広報179号

2014年4月16日発行

主な内容

- ②-④ 開学60周年(60年の軌跡／記念誌を発行)
- ⑤ 工学部電気電子工学科が国家資格取得を支援
- ⑥-⑦ 入学式
- ⑧-⑨ 新任の学部長・研究科長・研究所長の抱負
- ⑩ 図書館の貴重書「義貞軍物語」
- ⑪ 中京人往来「小西博之さん」／教育懇談会
- ⑫ 2014年度入学志願者3年連続3万人超
- ⑬ スポーツ(フィギュア世界選手権／ソチ五輪)
- ⑭-⑮ 卒業式／各賞受賞者
- ⑯-⑰ 7つの研究力「文化科学研究所」
- ⑱-⑲ 海外ビジネス研修レポート



中京に歴史あり 1956年 ◀◀

この年の4月、中京短期大学から4年制の中京大学へ。正門の校札も「中京大学」にかけ直された。専門教育課程としての商学部に加えて、一般教育課程を受け持つ教養部も同時に設置された。

発行 中京大学 広報部

〒466-8666名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL.052-835-7111(代)



▲「中京大学広報 第112号」より

1995
日本の大学で初めてISEP
(国際交換留学生プログラム)
に加盟

1997年8月、本学から2人の学生(写真)が初めて派遣された。ISEPへの加盟は、言語や文化の違う国でも活躍できるグローバル人材の育成を強化する試金石となった。現在は全世界で300以上の大学が加盟している。



第7代学長
北川 薫

**本学を支えてきた
卒業生・教職員・学生に感謝**

初代学長・梅村清明先生の教育にかける強い意志を柱とし、英知を絞り、熱心に取り組んできた教職員、元気で行動力のある学生たちの活躍によって、今日の中京大学が形成されました。卒業生、教職員ならびに学生の皆様には大変感謝しています。

2014

入学志願者数が
中部地区1位
(2012、2013)

卒業生数10万人を突破(2009)

2004

11学部・大学院11研究科体制になる

2000

私学初の心理学部を設置

1995

8学部・大学院8研究科体制になる

卒業生数5万人(1992)

1987

私学初の体育学研究科
体育学専攻博士課程を設置

1987

中部経済同友会共催で
第1回公開講座を開催

1994

開学40年「開かれた大学」へ
市民向けの教養講座
オープンカレッジ開講

1995

中京高等学校を附属化し、
高大連携教育を推進

1999

キャンパス内を全館禁煙に

2004

サッカー場が人工芝公認第1号

2005

体育会レクリエーション部が緑綬褒章受章

児童健全育成活動奉仕団体として受章。キャンパスのある豊田市周辺の小学生を対象に、体操教室の開催、子供会行事の企画、キャンプの指導などを33年間行ってきた。厚生大臣、愛知県知事、豊田市からも表彰されている。



◀ 学生組織・環境保全委員会が禁煙協力を呼びかけ



1990

2000

2010

中京大学

60年の軌跡

本学は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を建学の精神に掲げて開学し、今年、60周年を迎えた。学生数75人、商科の単科大学でスタートし、現在は学生数13,000人余、11学部大学院11研究科の総合大学に発展した。12万人に上る卒業生は、産業界、教育界など多方面で活躍。在学生への就学支援、就職支援にも協力し、在学生の道標となっている。

中京大学60年の軌跡を教育研究、学生たちの活躍など、TOPICSを中心にたどってみる。



▲完成した記念館(5号館=右)と2号館(左)1955年

1954

中京短期大学開学、商科を設置。
初代学長に梅村清明が就任。
入学生75人



初代学長
梅村 清明

中京大学の歴史に 輝かしい記録を

開設記念式典において梅村清明学長は全学生に「諸君の学術に対する真剣味を熱望して止まない」「建学の精神を高くかかげ、中京大学の歴史に輝かしい記録を残そうではないか」と呼びかけた。



◀地球儀の燈 1959年
本館完成時、正門・門柱に設けられた。建学の精神が説く「文武両道」は万国共通の教育理念であり、また、中京大生が世界に雄飛することを期待して設置された

1971

豊田キャンパスが完成、
体育学部移転

学生数1万人以上(1975~)

卒業生数1万人(1972)

1966

4学部(商、体育、文、法)
体制になる

学生数5千人(1969)

学生数1千人(1962)

1956

中京大学開学、商学部商学科
を設置。入学生237人

1954

1954
体育会系、文化会系
9クラブが発足

▶体育会旗 1956年
9クラブによる体育会が
組織された



1960

1970

1980

1981

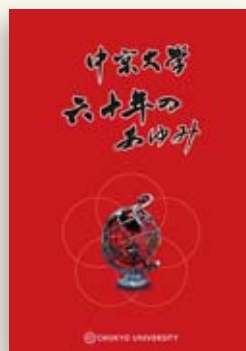
在学生の保護者組織
中京大学父兄会(現・
教育後援会)が発足

▼文学部の講義風景 1977年
学部生2,075人のうち、女子はそれまで最大の859人を数えた



記念誌「六十年のあゆみ」発行

中京大学開学60周年記念



写真集、前史編、未来編の三部構成

学校法人梅村学園は中京大学開学60周年（2014年）を記念し、歩みを振り返る記念誌を作成した。発行は5月下旬同窓会員には7月から、全員に順次配布される。

記念誌のタイトルは「中京大学六十年のあゆみ」。体裁はA4版152頁で、制作部数9万部。本格的な記念誌は1978年発行の「梅村学園五十年史」、1993年の「梅村学園七十年史」以来となる。

開学記念事業は①記念誌の制作②講演会の開催③2014年卓上カレンダーの作成——を柱とし、2012年6月に発足した記念事業準備委員会（委員長・安村仁志副学長）が詳細を検討。

7月 同窓会員に配布

広報部・大学史編集担当とエクステンションセンターが事務局となって進められた。

記念誌は準備委員会の阿部英樹経済学部教授が編集長をつとめ、60年をたどる「写真集」と、開学までの「前史」、中京大学の将来を展望する「未来」編の三部構成とした。

写真集は60年の各年を見開き



2頁、計120頁の構成になっており、掲載写真は約750点。卒業生や教職員OBに資料提供を呼びかけたところ、約90人から協力の申し出があり、写真など750点が提供された。それらの相当数が写真集に掲載され、本学にとって貴重な記録になっている。

「前史」は梅村文教事蹟を江戸・元禄時代（17世紀）からたどり、中京商業学校の開校（1923年）から、中京商業高等学校開設（1948年）を経て、大学開学までの約300年の歴史を紹介している。

「未来」編は梅村清英理事長のインタビューと、中京大学半世紀の歩みを知る6人の座談会を採録している。

「未来」編は梅村清英理事長のインタビューと、中京大学半世紀の歩みを知る6人の座談会を採録している。

問い合わせ先
学園事業推進室
電話：052-835-7439

時代を越えて受け継がれる建学の精神 「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」

建学の精神

梅村学園の建学の精神の要約は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」であり、すなわち学術の場では学術の研鑽と共にシントルマンシップを醸成陶冶する。スポーツの場では健康の増進、心技の練成と共にスポーツマンシップを体得する。スポーツマンシップは、シントルマンシップ、スホリックマンシップ、ヘルマンシップ、ニベスタマンシップ、三チームワークをつくり、四相手を敬意を持つ。この四大綱と内容とする。

このような精神の体得者は個人としても、家庭人としても、社会人としても、国民としても、世界人類の一人としても、まことに望ましい人間である。

このような教育は如何なる国の如何なる時代においても、貴族と庶民とを区別されず、本質を有する。梅村学園は、建学の精神と教育の基盤として永遠に堅持高揚を期す。

一九八八年二月十八日
学校法人 梅村学園
校長 梅村 清明

第3回講演会

日本「再創造」

行動する人材を育てる

小宮山 宏さん

三菱総合研究所理事長
前東京大学総長

中京大学開学60周年を記念した第3回講演会が、前東京大学総長の小宮山宏・三菱総合研究所理事長を講師に招いて行われ

る。テーマは「日本『再創造』」行動する人材を育てる。詳細は次の通り。

日時 5月28日(水) 14時～
会場 名古屋キャンパス
図書館・学術棟 清明ホール
応募方法 ホームページで案内
問い合わせ先
エクステンションセンター
(052-835-7216)



国家資格の取得支援 高度な専門職、幅広い就職に対応

2013年4月に開設した工学部電気電子工学科は、同学科の学生たちが高度な専門職、幅広い就職に対応できるよう、電気や電子、電波に関連した国家資格の取得を支援している。

同学科のカリキュラムには、電気主任技術者、電気通信主任技術者、無線従事者の3つの国家資格取得に必要な専門科目が数多く配され、卒業に必要な単位を取得すると同時に、資格に必要な科目の全てを、または一部を修得することが可能になっている。

また、電気・電子・電波に関連した事業所への見学会を実施し、設備や技術、実務などを学習するなど、資格取得や就職への目的意識を高める機会を設けている。

■資格の概要

| 資格の種類 | 概要 |
|-----------|---|
| 電気主任技術者 | 発電所や変電所、工場、ビルなどに高電圧を直接引き込む受電設備や配線など、電気設備の保安監督の職に従事できる資格。 |
| 電気通信主任技術者 | NTTなどの通信事業者にある事業用電気通信設備を技術基準に適合するよう、配線・点検・修理や維持、運用の監督にあたるための資格。 |
| 無線従事者 | 電波法に定める無線設備（無線電信、無線電話、その他電波を送り、または受けるための電氣的設備）の操作またはその監督を行うための資格。 |

総合政策学部 宮川プロジェクト研究

経産省・社会人基礎力協議会共催 「社会人基礎力育成グランプリ」で大賞

商品開発にとどまらず、 販路開拓まで提案

総合政策学部の宮川プロジェクト研究（ゼミ）3年生チーム（指導教授：宮川正裕）が、3月10日、経済産業省・社会人基礎力協議会共催「社会人基礎力育成グランプリ」全国大会に出場。「地元の化粧品製造業との産学連携プロジェクトを通じた社会人基礎力の育成」のテーマで発表し、最高賞の大賞（経済産業大臣賞）に輝いた。

同チームはボディ・スクラブという若者向け新商品を、化粧品会社フタバ化学に提案。コン



開発商品
「ボディ・スクラブ」



明電舎の見学を終えて（電気電子工学科1年生、引率教員と明電舎社員）

電力・エネルギー関連メーカーを見学 「電気機器の理論と実際を学ぶ」

電気電子工学科1年生ら26人が2月27日、静岡県沼津市にある電力・エネルギーや電鉄システムなどのメーカー、明電舎沼津事業所を訪れた。事業概要の説明を受けた後、電力会社やJRなど大規模需電者が扱う変圧器や開閉器の工場、技術センターを見学した。

学生たちは、間近で見る大型の機器や巨大な組み立て機器が動く姿に圧倒され、従業員の解説に非常に興味を示していた。引率した青森久講師は「学生は現物を体感し、理論を実際の機器に適用し、製品にする一連の流れを学んだ。今後の学習において、理解の助けになると思う」と期待を込めて語った。



審査員、来場者ら100人を前に発表する学生たち

セプトや十分な裏づけが認められ、新商品として採用された。さらに観光都市の観光協会にプレゼンし、温泉と健康美容の総合地域活性化プランに採用されるという成果も上げた。

社会人基礎力『考え抜く力』伸びる

審査員から「調査・分析などデータの裏付けに基づいてアクションを起こしている。商品開発にとどまらず、販路開拓まで解決方法を考える過程で、社会人基礎力として重要な『考え抜く力』が伸びた」と評価された。

メンバーは、鬼頭里奈さん、鬼頭明日香さん、熊澤和希さん、皿井葵さんの4人。



式辞 (大要)

学長 北川 薫

60年前の1954年に開学した中京大学が、全国有数の総合大学に成長した原動力は、「挑戦と改革」です。その時々

の社会や地域の要請を受けて、学部を新設し、また改組も進めてきました。今年度は、文学部には歴史文化学科が新設され、国際英語学部は3専攻制に改組されました。過去を極めるとともに、世界を視野に活躍できる人材の養成にも、取り組んでいきます。まさに、留まることのない挑戦と改革です。大学で学ぶということは、「人

心身ともに豊かな学生生活を

生に対してますます深く、ますます多種多様な興味を感じるようになる」ことと、イギリスのジョン・スチュアート・ミルは言っています。そのためにも、是非、多くの友人を作ってください。世の中には様々な考え方、生

き方があります。他人である友人の考え方や行動様式を知ることで、自分自身をも知ることになります。また、1人では体験しきれないことでも、友人から見聞することで疑似体験することもできます。友人の数が多いほど、その範囲は広がります。

中京大学の「建学の精神」は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」です。すなわち、「知力」「体力」「気力」と「フェア精神」を磨くことにあります。この建学の精神は人間が生きていく上で、社会生活を営む上で、とるべき道を示しています。どうか、心にとどめて心身ともに豊かな学生生活を送ってください。



2014年度 入学式を挙行

3336人が新しい学生生活スタート

2014年度の中京大学入学式が4月1日、日本特殊陶業市民会館で午前と午後の2部に分かれて開かれ、11学部3240人の新入生と大学院に進学した96人の計3336人が、新たな学生生活のスタートを切った。式典では北川薫学長が「中京大学は今年度、開学60周年を迎

えました。思う存分、学問にスポーツに、友人との交流に、4年間を当てて、その中から、自分の進むべき道を探ね、心身ともに練磨していただく。と激励。梅村学園の梅村清英理事長も「中京大学は教育力の向上を目指して、長期計画『NEXT10』を策定、次の時代を見

据えて、具体的なプロジェクトが動き始めます。みなさんも、『しなやかな知識人』『自立した社会人』となるために、専門知識とともに幅広い教養を身につけてください」と祝辞を述べた。この後、新入生を代表して、午前の部では文学部の長谷川七星さんが「ソチオリンピックで

中京大学の選手が活躍され、大きな感動を受けました。私たちも『グローバル社会』を視野に入れ、自分の夢を追いかけて続けたいと思います」と宣誓。午後の部ではスポーツ科学部の橋口勝輝さんが「スポーツ科学の成果を水泳のトレーニングに取り入れ、オリンピック出場という夢の実現に向けて頑張ります」と抱負を語った。最後に、中京大学吹奏楽団の伴奏で、混声合唱団のリードに合わせて全員で学歌を斉唱した。

2014年度 中京大学役職者 (4月1日現在)

学長 北川 薫
副学長 安村 仁志

《学部》

文学部長 酒井 敏
国際英語学部長 榎木園鉄也
国際教養学部長 杉江 修治
心理学部長 坂井 誠
現代社会学部長 村上 隆
法学部長 愛知 正博
総合政策学部長 桑原 英明
経済学部長 椿 建也
経営学部長 梅田 守彦
工学部長 井口 弘和
スポーツ科学部長 梅村 義久

《大学院研究科》

文学研究科長 福井 佳夫
国際英語学研究科長 足立 公也
心理学研究科長 尾入 正哲
社会学研究科長 斉藤 尚文
法学研究科長 檜山 幸夫
経済学研究科長 山田 光男
経営学研究科長 向日 恒喜
情報科学研究科長 長谷川純一
体育学研究科長 渡邊 丈真
ビジネスイノベーション研究科長 宮川 正裕
法務研究科長 横尾日出雄

祝辞 (大要)

梅村学園理事長 梅村 清英

梅村学園の中核としての中京大学は本日、開学60周年を迎えました。その記念すべき時が、新たに策定した長期計画「NEXT10」のスタート

となりました。次の時代の教育を見据えた内容で、そこに盛り

られた具体的なプロジェクトが動き始めます。

キャッチフレーズは「しなやかに挑み続ける新生・中京大学」です。学内の主役はもちろん、

専門的知識と幅広い教養を



スポーツの真剣味の殿堂たれです。校訓は「真剣味」です。その実践として、四大綱「ルールを守る。ベストを尽くす。チームワークをつくる。相手に敬意を持つ」があります。「真剣味」の真は知育、剣は体育、味は徳育を意味します。健全なる身体

の元、ルールを守り、礼節を尽くした上でこそ、知力は本物となります。

皆さん学生です。「自ら考え行動することのできるしなやかな知識人を育成」することを、教育目標に掲げています。「しなやか」とは何か。「難局にも、くじけない、柔軟で強い」というような意味です。

戸外に目を向ければ、桜は満開、春らんまんです。皆さんには、どんな逆境にあつても、これを乗り越えられる「しなやかな知識人」「自立した社会人」となつて、花を咲かせてもらわなければなりません。そのためには、専門的知識とともに、幅広い



い教養を身につけてください。教職員一同全力で支援していきます。



新入生 宣誓

文学部 ^{ななせ}長谷川 ^{ななせ}七星
(愛知・旭野高校)



私は今年度から新たに設置された歴史文化学科に所属することになりました。栄えある第一回生として学べることを、大変誇りに思います。私達は今、情報社会の中で、ともすれば凄まじい速さで膨大

に流れていく情報に押し流され、自分の足元を見失いそうになっています。私達が国際社会の中で、日本人としてのプライドを持つて活躍していくためには、日本の歴史文化に立脚し、「世界の中の日本」という広い視野を持つことが必要だと考えます。そのためにも、自らの文化を誇りとしながら、様々な分野で深い専門性と柔軟な国際感覚を養い、「国際人」としての確かな教養を身に付けていきたいと思えます。

スポーツ科学部 ^{かつき}橋口 ^{かつき}勝輝
(愛知・豊川高校)



私は高校時代、水泳部に所属し、3年生のインターハイ、1500m自由形で優勝することができました。中京大学ではスポーツ生理学など幅広いスポーツ科学の知識を身につけて、実技に理論を応用する方法を学べ

ると聞いています。高校時代は「根性」だけで練習していましたが、学問の成果を自分のトレーニングに取り入れることで、自分の潜在力が引き出されるのではないかと期待しています。私の1500m自由形のベストタイムは、15分24秒です。オリンピック出場の標準記録である15分を切るには、あと24秒短縮しなければなりません。「24秒」というのは私にとって大きな壁ですが、夢の実現に少しでも近づけたら、と願っています。

《研究機関・各種センター等》

| | |
|----------------|-------|
| 社会科学研究所長 | 檜山 幸夫 |
| 文化科学研究所長 | 明木 茂夫 |
| 企業研究所長 | 由里 宗之 |
| 体育研究所長 | 菊池 秀夫 |
| 経済研究所長 | 釜田 公良 |
| 人工知能高等研究所長 | 輿水 大和 |
| 法曹養成研究所長 | 山田 幸彦 |
| 図書館長 | 佐藤 隆 |
| 国際センター所長 | 白井 正敏 |
| 情報センター所長 | 鈴木 崇児 |
| エクステンションセンター所長 | 梅 正行 |
| 保健センター所長 | 清水 卓也 |
| 臨床心理相談室長 | 神谷 栄治 |
| 《大学事務局》 | |
| 事務局長 | 北本 暢 |
| 事務局次長 | 佐野 文彦 |



企業研究所長
由里 宗之

本学着任後すぐ所属させていただき、プロジェクト予算のおかげで研究成果を積み重ねてこられた身として、当研究所の研究支援機能を一層充実させていきたい。プロジェクト制度の使い勝手の良さをより高めるとともに、その成果たる出版物の所内ストックや研究知見の相互交流の場についても工夫していければと思う。

ハーバード大学ケネディ・スクール(行政学大学院)修士課程。博士(商学)。金融論。54歳。



工学部・情報理工学部附属
人工知能高等研究所長
奥水 大和

本研究所は、1990年から23年の歴史を学部・研究科と共に産業社会との強結合を図る役割に注いできた。

産学連携事業支援、共同研究室運営、MVRラボ解放、国プロ(IPA、CRESTなど)の獲得をはじめ、学内コラボ(体育研、社研)の推進、外部機関との協定事業(名古屋科学館)などの活動の芽も出た。これら諸事業を拡大、充実させていく。

名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程。博士(工学)。画像処理。66歳。

● 新入生対象のガイダンス

有意義な学生生活の道標に
学生生活や就職、在学生による履修相談も



熱心にガイダンスに聞き入る学生

早く学生生活に慣れ、本学のサポート制度、教育施設などを効果的に利用してもらうことを目的として、本学では毎年4月、6部門による新入生向けガイダンスを行っている。より効果的に学習できるよう教職員による履修相談会も行われ、経営学部など一部の学部は先輩学生が相談に応じていた。

大学では受け身ではなく、能動的に動かなければ満足いく学生生活を送ることができない。例えば、資格取得を目指す学生は、資格センターによるガイダンスに基づいて、なりたい職業や関心のある分野の講座を選択し、スケジュールを調整して臨む必要がある。

本学の学生としての自覚を持ちながら、自立し充実した4年間を送れるよう、学生支援室はキャンパス・ハラスメント防止委員会の紹介やメンタルケアを行う学生相談センターの利用方法について手引きしている。また、不注意な書き込みで予想外の誤解を与えたり、違法行為と判断される恐れのあるSNSによるトラブルなど、インターネットによる事件の事例を挙げ、注意を促していた。

一方、在校生に向けても3月下旬に資格や就職、履修についてのガイダンスが行われている。2016年に卒業する現3年生の就職活動時期は大幅に後ろ倒しされる。キャリアセンターでは、企業の採用活動解禁に備え志望先を絞り込むことや、卒業論文にかかる時間の確保など、予想される影響や取り組むべき事柄を伝え、積極的な同センターの利用を呼びかけている。

心理学部心理学科

准教授/川島 大輔/生涯発達心理学

現代社会学部現代社会学科

教授/亀山 俊朗/仕事と自由時間
准教授/岡部 真由美/エスノグラフィー論
講師/森田 次朗/社会教育論

法学部法律学科

准教授/高田 倫子/憲法1A

経済学部経済学科

講師/吉野 裕介/経済学史

工学部メディア工学科

講師/中 貴俊/プログラミング基礎2
助手/井藤 雄一

スポーツ科学部スポーツ教育学科

教授/小磯 透/保健科教育法
教授/山田 憲政/体育・スポーツ心理学

スポーツ科学部競技スポーツ科学科

助教/禿 隆一/スポーツ実技A(バスケットボール)

法務研究科

教授/中川 由賀/捜査・公判論

退職教員 (3月31日付)

学部・学科/職位/氏名/専攻分野

文学部日本文学科

教授/原 國人/国語教育

国際英語学部国際英語学科

教授/吉川 寛/社会言語学

准教授/Gary French/T.E.S.L

国際教養学部国際教養学科

教授/細井 輝男/健康

教授/中田 友一/数学

教授/白井 賢一郎/言語学

准教授/丑田 弘忍/ドイツ語史

准教授/上代 庸平/憲法学

心理学部心理学科

教授/鯨岡 峻/発達心理学

現代社会学部現代社会学科

教授/松田 昇/社会学

教授/小野 征夫/社会教育学

教授/川田 牧人/文化人類学

総合政策学部総合政策学科

教授/並河 良一/産業政策

経営学部経営学科

教授/猿田 正機/労務管理

工学部メディア工学科

准教授/遠藤 守/情報科学

情報理工学部情報システム工学科

教授/飯田 三郎/計算機科学

情報理工学部情報メディア工学科

教授/幸村 真佐男/メディアアート

教授/伊藤 誠/計算機支援設計

スポーツ科学部スポーツ教育学科

教授/柿山 哲治/保健科教育学

体育学部体育科学科

教授/猪俣 公宏/体育・スポーツ心理学

新学部長の抱負



**国際英語学部長
榎木 蘭 鉄也**

本年度の改組で国際英語学部は3専攻体制となる。各専攻とも、学生は国際コミュニケーションのための実用的な英語に加え、各専攻の専門科目を学ぶ。本学部の学生には英語圏のみならず世界のどこでも不自由なく生きていける語学力・適応力・専門知識を学んで欲しい。私自身、率先してそれを体現できるよう精進していきたい。

神戸大学大学院教育学研究科修士課程。教育学修士。社会言語学・南アジア研究。50歳。



**国際教養学部長
杉江 修治**

多様性に彩られた国際社会と関わるに際しての個人の資質は、人間の共通性を見通す力をもつことによって、より豊かで確かなものとなる。本学部が国際教養を育む学部教育と全学共通科目(教養教育)という二本の柱をもつことの長所を、教育・研究面で、さらに生かした学部運営に努めたいと考えている。

名古屋大学大学院教育学研究科博士課程。博士(教育心理学)。授業の心理学。65歳。



**現代社会学部長
村上 隆**

現代社会は、グローバルとローカルという相反する2つの方向の問題を抱えている。それぞれの持ち場で、それらの問題解決に取り組むことのできる人材を育成するために、わが学部の役割はますます大きくなる。

2015年度からの専攻制導入とカリキュラム改革を目前に、自然豊かな豊田キャンパスで、一層の発展を目指したい。

東京教育大学大学院教育学研究科博士課程中退。博士(心理学)。計量心理学。66歳。

新研究科長の抱負



**文学研究科長
福井 佳夫**

本研究科は1971年に設置されて以来、おおくの優秀な人材を送りだしてきた。主要な教育研究上の目的は、日本の文学や言語に関する研究を深化させ、その価値観や美意識を現代的視点から見直すことにある。いたずらに効率や実用性のみにとらわれず、幅広い視野から、日本における文学・言語の意義を追究してゆきたい。

広島大学大学院文学研究科博士後期課程。文学修士。中国古典文学。60歳。



**国際英語学研究科長
足立 公也**

本研究科は、国際英語学専攻と英米文化学専攻の2専攻から構成されている。両専攻はともに英語及びその言語文化を対象とし、研究の領域において相補う形で進んできた。今年度、研究科長に就任するにあたって、これまでの成果を踏まえ、学部との連携、両専攻の相互協力を推し進め、院生が満足できる研究環境を充実させたい。

東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程中退。文学修士。英語学。55歳。



**心理学研究科長
尾入 正哲**

高度な専門教育を行うことが大学院の使命であるが、同時に院卒者にふさわしい幅広い見識や豊かな人格を育むことも重要である。心理学の専門性を意識しつつ、大学院における「一般教養」的な教育にも留意して、学識の面だけでなく、社会のさまざまな要請に応えられる人材を養成することに努めたい。

京都大学大学院文学研究科博士課程中退。文学修士。産業心理学。56歳。



**情報科学研究科長
長谷川 純一**

本研究科は、1994年の発足以来、情報科学分野の研究者・技術者を志す学生の受け皿となってきたが、3年後はいよいよ工学部の学生が進学してくる。このため、従来の情報分野のみならず、機械システム工学や電気電子工学など「ものづくり」分野にも対応できる研究教育体制が必要であり、そのための組織再編を進めていきたい。

名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程。工学博士。画像情報工学。62歳。



**体育学研究科長
渡邊 丈眞**

今、体育・スポーツによる社会貢献への期待が拡大している。体育学は、「人文・社会科学」、「自然科学」等の広い領域にわたる研究・教育を通じて、専門的な教養と技能を備えた職業人の養成を可能としてきた。体育・スポーツ固有の価値を社会に明確に伝えることのできる人材を養成するために、その支援環境を拡充したい。

名古屋大学医学部医学科。医学博士。公衆衛生学。59歳。

新任教員 (4月1日付)

学部・学科/職位/氏名/主な担当科目

文学部言語表現学科
准教授/中川 豊/図書館概論

文学部歴史文化学科
教授/小川 和也/思想史
准教授/白根 孝胤/近世史
准教授/中元 崇智/近代史
講師/小早川 道子/民俗学

国際英語学部国際英語学科(国際英語キャリア専攻)
講師/松元 洋介/国際英語キャリア入門演習I

国際教養学部国際教養学科
准教授/今 有礼/個人スポーツI・II
准教授/齊藤 公輔/ドイツ語ドイツ文化研究IA
准教授/永井 勇/統計学A・B
講師/メリサンダ・ベルコウィッツ/
イングリッシュ・ワークショップIA
講師/鶴田 綾/イングリッシュ・スタディーズII
講師/三浦 綾希子/教育学A・B

図書館の貴重書 10



義貞軍物語(義貞軍記)

(寛文129)

武家の有り様を伝える書

本書は『新田左中将義貞軍記』とも称されるが、軍記物語ではなく、武家の作法や習わし、教訓などを記す。応仁の乱以前には成立していたと思われ、室町・戦国時代によく読まれた。江戸時代に入ると二種類の古活字版を初めてして何度も出版された。この本は、寛文十一年(一六一一)に長岡という本屋が出版したもの。目録(今の目次)の題は「義貞軍物語」だが、表紙には「義貞軍記」とある。大本二巻二冊。

長岡の所在は記されないが、目録の形式、一頁十五行の本文、挿絵等、いずれも江戸版の特徴を備える。諸藩の藩邸などがある江戸は武士の多



い町で、このような書物は需要があつたと思われる。しかし日本古籍総合目録データベースによれば、寛文十一年版は愛媛県の大洲市立図書館矢野文庫が所蔵するのみである。本文は十七項目からなり、「大将軍心根を持つべき事」「山川の戦いの事」「奉公用意の事」といった実用的な記事が並ぶが、「用心を専らすべき事」等には説話集を彷彿とさせる武人譚なども見える。戦国期以前の武家の有り様を伝える、興味深い書物である。

(文学部教授 柳沢 昌紀)

河原純一郎教授 日本基礎心理学会優秀論文賞



河原純一郎教授

心理学部の河原純一郎教授が12月7日、日本基礎心理学会第32回大会で優秀論文賞を受賞した。同賞は日本基礎心理学会機関紙「基礎心理学研究」における優れた論文に対して表彰している。授賞対象論文は「急性ストレスが選択的注意に及ぼす影響」。

同論文は武庫川女子大学の竹中一平助教、理化学研究所の熊田孝恒ユニットリーダーとの共著で、心理学研究第83号に掲載された。

THE 生徒指導

杉江 修治

(国際教養学部教授)他著

本書は、『THE 教師力』シリーズの一冊である。現場教師の実践の手引きとして活用されるものである。生徒指導に関する本は、問題への対応が内容の中心であったが、ここではいかに問題が起きない学校経営をするかという視点も大事にされている。

明治図書。2014年2月刊。

71頁。本体960円+税

ポーランドの中の《ドイツ人》—第一次世界大戦後ポーランドにおけるドイツ系少数者教育—

小峰 総一郎

(国際教養学部教授)著

新生ポーランドに残留したドイツ人の、ドイツ語ドイツ文化の教育は困難だった。だが彼らは「ジュネーブ協定」(1922)に基づきこれを実現した。著者は国際連盟、ポーランド当局、ドイツ人少数者運動の視座から少数者教育を研究。「主観原理」(ドイツ人である事の表明)は、言語とアイデンティティを尊重する現代国際教育の嚆矢であるとする。

学文社。2014年3月30日刊。

290頁。本体4,800円+税

トレーニングを学ぶ 体育授業における理論と実践

下嶽 進一郎

(スポーツ科学部助教)編著

トレーニングに関する実技と知識を取り上げている。実技編では、ウェイトトレーニング種目を教材とした授業での内容を中心に、トレーニング指導の基本と動作を獲得するためのマニュアルになっている。理論編では、トレーニングというコトバを中心に、関連ある分野を取り上げて紹介している。体育の授業で教科書として使うことができる内容である。

ブックハウス・エイチディ。

2014年2月28日刊。172頁。

本体1,700円+税

中国地名カタカナ表記の研究

教科書・地図帳・そして国語審議会

中京大学文化科学叢書15

明木 茂夫

(国際教養学部教授)著

社会科の教科書や地図帳における中国地名は、「天津→ティエンチン」のようなカタカナ現地音表記になっている。これはいつ誰が何のために始めたのだろうか。国語審議会の議事録や戦前の国語国字関連資料からそれを解き明かし、併せて今後の表記の在り方に関する提言も行う。

東方書店。2014年3月25日刊。

443頁。本体4,000円+税

運動とスポーツの生理学

改訂3版

北川 薫

(学長、スポーツ科学部教授)著

本書は「体力」を理解するうえで、生理学視点で「必要にして十分」な基礎知識をまとめている。スポーツ科学部生の教科書として2001年に初版が出版され、2009年に第2版、このたびが第3版であり、全国的に定着しつつある教科書である。今回は全体を見直すとともに中枢神経系、高齢者について加筆したことである。本書はまた、台湾にて中国文に翻訳出版されることになっている。

市村出版。2014年4月8日刊。

123頁。本体2,400円+税



編集記

3月にニューヨークで、ビジネス研修に来た学生を引率するという大役を担った。本学の職員になって1年の私にとって、学生と向き合い、成長を間近で見ることのできる貴重な機会だった◆渡米直後には、着ぐるみと一緒に撮る観光客目当ての撮影に不用意に応じて20ドルを請求され、ショックを受けた学生がいるほど、戸惑いの多いスタートだった。しかし、2週間の研修が終わる頃には、主要駅の構内を迷わず移動する適応力や、訪問先企業で自分が働く姿を想像して質問する姿が見られた◆自分で考え、行動する力を付けてもらうため、簡単なアクシデントは見守ることに徹した。オートロックの寮の部屋に鍵を閉じ込んでしまった学生は、フロントと積極的に交渉して解決した◆私自身が初めてのニューヨークで道に迷いかけることもあり、教職員の行動は常に学生に見られていることを再認識した。学生の反面教師にならぬよう日々努力しなければ、と12人の学生から贈られたサインボールを見て背筋を伸ばしている。(ま)



形を変えて、叶った夢

小西博之さん
俳優

「観客それぞれに感性があるから、役者に百点はない」という俳優の小西さん。固定観念にとられないために頭の中を真っ白にし、ゼロから役を作り上げていくことを心掛けている。



教師を志し、中京大学商学部に入學。和歌山県田辺商業高校の恩師に「教師になって戻って来い」と期待された。熱血派の小西さんは「規律の上に自由がある。大学で礼儀を学んだ」大学時代の4年間が人生で一番楽しかった」と当時を振り返る。教育実習を終えた4年生の夏、その年に限って和歌山県の教員採用試験(商業)は実施されなかった。教師になる夢を持ったまま俳優へ。

9年前に大病を患い、命に就いて見つめ直すきっかけになった。現在、年間約1000回の講演(うち3分の1は小・中・高等学校)をこなし、命の素晴らしさを伝えている。講演先の学校

の先生から「生徒に熱弁する小西さんの姿は立派な教師です」と言われ、「講演という形で、子どもたちの魂を揺さぶることができる」と捨てきれなかった夢の実現に手応えを感じている。「肝心な事を教える時は、45分笑わせて最後の5分で締めくくると子どもの脳裏に強く残る」。中京大学で学んだ児童心理学の手法を講演会で生かしている。役者と同様、講師にも百点はないが、小西さんは子どもたちの心をしつかりと温めている。

●和歌山県田辺市出身。1982年中京大学商学部卒。NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」など、テレビ、映画、舞台などで活躍。釣り、園芸、バイクが趣味。

2014年度「教育懇談会」

6、7月に全国26都市で開催

教育後援会主催「教育懇談会」は、保護者の皆さんにカリキュラムや成績、留学、キャリアアップ、就職、奨学金、クラブ活動について理解を深めていただくために、毎年6、7月に開催されている。

本学キャンパス(名古屋、豊田)のほか、全国24都市で実施。中京大学教職員が各会場に出向き、全体的な説明のほか、個々の相談にも応じる。

案内状の送付は5月上旬を予定している。詳細は校友会本部(052-835-7140)まで。

※本学会場の対象学部
6月7日(名古屋キャンパス):
文学部・国際英語学部・法学部・経済学部
6月7日(豊田キャンパス):
現代社会学部・工学部・情報理工学部・スポーツ科学部
6月8日(名古屋キャンパス):
国際教養学部・心理学部・総合政策学部・経営学部・工学部

| 開催都市 | 開催日 | 会場 |
|----------|---------|-----------------------|
| 愛知県 名古屋 | 6月7日 土 | 本学名古屋キャンパス* |
| 愛知県 豊田 | 6月7日 土 | 本学豊田キャンパス* |
| 愛知県 名古屋 | 6月8日 日 | 本学名古屋キャンパス* |
| 沖縄県 那覇 | 6月14日 土 | ホテルロイヤルオリオン |
| 石川県 金沢 | 6月14日 土 | 金沢エクセルホテル東急 |
| 山口県 下関 | 6月14日 土 | 下関グランドホテル |
| 鹿児島県 鹿児島 | 6月15日 日 | 城山観光ホテル |
| 福井県 福井 | 6月15日 日 | ホテルフジタ福井 |
| 兵庫県 神戸 | 6月15日 日 | ANAクラウンプラザホテル神戸 |
| 岐阜県 岐阜 | 6月21日 土 | 岐阜都ホテル |
| 愛媛県 松山 | 6月21日 土 | 松山全日空ホテル |
| 岐阜県 高山 | 6月22日 日 | 高山グリーンホテル |
| 高知県 高知 | 6月22日 日 | 高知サンライズホテル |
| 三重県 四日市 | 6月28日 土 | 四日市都ホテル |
| 大分県 大分 | 6月28日 土 | 大分オアシスタワーホテル |
| 三重県 松阪 | 6月29日 日 | フレックスホテル |
| 山梨県 甲府 | 7月5日 土 | ホテル談露館 |
| 鳥取県 鳥取 | 7月5日 土 | ホテルニューオータニ鳥取 |
| 愛知県 豊橋 | 7月5日 土 | ロワジールホテル豊橋 |
| 長野県 松本 | 7月6日 日 | ホテルモンターニュ松本 |
| 島根県 松江市 | 7月6日 日 | 松江東急イン |
| 京都府 京都市 | 7月12日 土 | ホテルグランヴィア京都 |
| 静岡県 浜松 | 7月12日 土 | グランドホテル浜松 |
| 和歌山県 和歌山 | 7月13日 日 | ホテルグランヴィア和歌山 |
| 静岡県 静岡 | 7月13日 日 | ホテルセンチュリー静岡 |
| 佐賀県 佐賀 | 7月19日 土 | ホテルニューオータニ佐賀 |
| 長崎県 長崎 | 7月20日 日 | ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル |

2014年度

入 試

志願者31,907人 3年連続3万人超え

本学の2014年度入学試験の総志願者は、対前年97.3%の31,907人と

なり、3年連続で総志願者3万人超えとなった。

試験区分別の志願者は、AO入試138人、推薦入試2,605人、前期日程入試25,903人、後期日程入試2,897人、学園内推薦313人、特別入試51人。

2月に行われたメインとなる前期日程入試は、A方式、M方式、得意科目重視型センタープラス方式、センター試

試験区分別志願者数(人)

| 試験区分 | 2014年度 | 2013年度 |
|---------|--------|--------|
| AO入試 | 138 | 152 |
| 推薦入試 | 2,605 | 2,527 |
| 前期日程入試※ | 25,903 | 26,731 |
| 後期日程入試※ | 2,897 | 3,090 |
| 学園内推薦入試 | 313 | 228 |
| 特別入試 | 51 | 60 |

※センター試験利用方式を含む

験利用方式3科目型・4科目型・5科目型の4つの方式で実施された。

倍率は11.4倍

全試験における募集定員に対する倍率は11.4倍(全試験平均)。

今春開設した文学部歴史文化学科の人気は高く、志願者数1,063人。文学部全体の志願者数は2,447人。改組前の文学部と比較すると1,040人多く、期待の大きさが伺える。学部別志願者数はスポーツ科学部6,005人、工学部4,805人、経営学部2,851人の順。

試験会場は本学(名古屋、豊田両キャンパス)のほか、全国15都道府県17都市(札幌・東京・富山・金沢・福井・松本・静岡・浜松・豊橋・岐阜・四日市・大阪・岡山・広島・松山・福岡・那覇)で実施された。

2014年度 全入試方式(学部学科別) 志願・合格者数(人)

| 学部 | 学科 | 定員 | | 志願者数 | | 合格者数 | |
|-------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2014年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2013年度 |
| 文 | 日本文 | 65 | 79 | 749 | 730 | 303 | 379 |
| | 言語表現 | 65 | 79 | 635 | 677 | 256 | 316 |
| | 歴史文化 | 65 | - | 1,063 | - | 287 | - |
| 国際英語 | 国際英語キャリア専攻 | 57 | - | 1,097 | - | 294 | - |
| | 英語圏文化専攻 | 57 | - | 848 | - | 299 | - |
| | 国際学専攻 | 57 | - | 713 | - | 297 | - |
| | 国際英語 | - | 85 | - | 1,351 | - | 478 |
| | 英米文化 | - | 85 | - | 1,159 | - | 485 |
| 国際教養 | 国際教養 | 103 | 105 | 1,129 | 1,256 | 639 | 574 |
| 心理 | 心理 | 165 | 169 | 1,918 | 2,091 | 629 | 730 |
| 現代社会 | 現代社会 | 257 | 264 | 2,411 | 2,668 | 1,277 | 1,409 |
| 法 | 法律 | 309 | 316 | 2,214 | 2,343 | 1,211 | 1,193 |
| 総合政策 | 総合政策 | 207 | 211 | 2,673 | 1,938 | 929 | 856 |
| 経済 | 経済 | 309 | 316 | 2,796 | 2,901 | 1,269 | 1,335 |
| 経営 | 経営 | 309 | 316 | 2,851 | 3,082 | 1,104 | 1,176 |
| 工 | 機械システム工 | 80 | 80 | 1,544 | 2,008 | 409 | 475 |
| | 電気電子工 | 80 | 80 | 1,170 | 1,737 | 393 | 452 |
| | 情報工 | 80 | 80 | 1,282 | 1,538 | 374 | 421 |
| | メディア工 | 60 | 60 | 809 | 869 | 259 | 307 |
| スポーツ科 | スポーツ教育 | 130 | 130 | 2,232 | 2,366 | 327 | 359 |
| | 競技スポーツ科 | 255 | 255 | 1,783 | 1,821 | 491 | 503 |
| | スポーツ健康科 | 80 | 80 | 1,990 | 2,253 | 209 | 206 |
| | 合計 | 2,790 | 2,790 | 31,907 | 32,788 | 11,256 | 11,654 |

博士 学位

卒業式で 7人に授与

本学は3月19日の卒業式(学位記・卒業証書授与式)で7人に博士学位(課程博士5人、論文博士2人)を授与した。

※経歴欄は順に現職(課程博士授与者のうち、本学大学院研究科2013年度在籍は省略)、最終学歴、学位論文タイトル。

●課程博士/博士(心理学)

首藤 祐介さん

西知多こころのクリニック勤務▽本学大学院心理学研究科臨床・発達心理学専攻博士課程修了▽随伴性判断に影響を与える要因の研究―試行間間隔と反応密度が与える影響の検討―

●課程博士/博士(社会学)

宮地 菜穂子さん

本学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程修了▽児童養護施設職員のスキルトレーニングプログラムの開発に関する実証的研究―子どものケア体制確立を目指して―

●課程博士/博士(認知科学)

遠山 紗矢香さん

静岡大学技術部▽本学大学院情報科学研究科情報認知科学専攻博士課程修了▽建設的相互作用を実現するための協調学習初期段階の支援

●課程博士/博士(メディア科学)

井藤 雄一さん

本学大学院情報科学研究科メディア科学専攻博士課程修了▽情報メディアの利用によるアート表現―メディアの変則的利用がもたらす可能性―

●課程博士/博士(体育学)

長谷川 弓子さん

名古屋大学総合保健体育科学センター研究員▽本学大学院体育学研究科体育学専攻博士課程修了▽ゴルフパッティングにおける状態不安と心理的距離

●論文博士/博士(メディア科学)

大泉 和文さん

本学工学部メディア工学科教授▽筑波大学大学院芸術研究科総合造形専攻修士課程修了▽CTGの研究―日本の初期コンピュータ・アートの思想とアルゴリズム―

●論文博士/博士(体育学)

大家 利之さん

(独)日本スポーツ振興センター国立スポーツ科学センター研究員▽本学大学院体育学研究科体育学専攻修士課程修了▽間欠的短時間高強度運動におけるパフォーマンスの維持に最適ナリカバリー方法

フィギュア世界選手権

浅田真央選手 3度目の優勝

フィギュアスケートの世界選手権(3月26-30日、埼玉)で、浅田真央選手(体育学部4年)が自己ベストの216.69点で4年ぶり、3度目の優勝に輝いた。3度の優勝は日本人歴代1位。

前日のショートプログラムは、浅田選手の代名詞トリプルアクセルを完璧に決め、世界歴代最高の78.66点をマークする圧巻の演技。フリーでも138.03点の見事な演技で、ソチオリンピック(6位)の雪辱を果たした。

小塚崇彦選手(トヨタ自動車所属、体育学研究科修士2年)は238.02点で6位、村上佳菜子選手(スポーツ科学部1年)は172.44点の10位、ペアに出場した木原龍一選手(木下クラブ所属・スポーツ科学部3年)は17位(ショートプログラム49.54点)だった。



学生・教職員が応援会 「選手と気持ちを一つに」

ソチ・オリンピックのフィギュアスケート・女子フリーの競技が行われた2月20日。日本時間では深夜となったにも関わらず、本学の学生、教職員ら360人が豊田キャンパスの大教室に駆けつけた。浅田選手、村上選手と気持ちを一つにし、ベストを尽くし、最高のパフォーマンスを出せるように応援をした=写真。

前日のショートプログラムで大きく出遅れた両選手に「最後まであきらめないで、ベストを尽くして」と精一杯の声援を送り、フリーの演技で順位を上げると惜しめない拍手が会場内に響いた。

ソチ・オリンピック 2014 SOCHI OLYMPIC GAMES

本学関係7人が 日本代表として出場 「次につながる大会に」

ロシア・ソチで行われた冬季オリンピック(2月7-23日)に本学関係7人が日本代表選手として世界に挑み、浅田真央選手がフィギュアスケート女子シングルで6位、清水小百合選手(本学職員)がスケート・ショートトラック3000mリレーで5位と健闘し、入賞を果たした。

日本の期待を背負って臨むオリンピックという大舞台では、極度のプレッシャーの中での戦いとなる。本学関係7選手もベストパフォーマンスこそ出せなかったものの、日本代表選手として堂々と戦い、多くの人たちに感動を与えた。自身を次のステップへとつなげる大会、次世代の子どもたちに夢を与える大会となった。

本学関係7選手の競技成績

●フィギュアスケート

浅田真央選手(体育学部4年)

- ・女子シングル6位入賞(198.22点)
- ・団体女子シングルショートプログラム3位(国別5位)

村上佳菜子選手(スポーツ科学部1年)

- ・女子シングル12位(170.98点)

木原龍一選手(木下クラブ所属・スポーツ科学部3年)

- ・ペア18位(ショートプログラム48.45点)
- ・団体ペアフリー5位(国別5位)

●スケート・ショートトラック

清水小百合選手(本学職員、2011年経営学部卒)

- ・3,000mリレー
B決勝5位入賞(4分15秒253)
- ・1,000m
予選1組4位(1分31秒879)

●カーリング

小野寺佳歩選手(北海道銀行所属、体育学部4年)

- ・予選リーグ5位(4勝5敗)

●スキー・アルペン

湯浅直樹選手(アルペン所属、体育学研究科修士1年)

- ・男子回転
1回目:20位(48秒74)、2回目:途中棄権

●スキー・フリースタイル

伊藤みぎ選手(北野建設所属、2010年体育学部卒)

- ・女子モーグル 予選:棄権

※学年はソチオリンピック開催時



総合政策学部
たかの ゆうき
高野 裕貴

私は高校生の時、日本の土地利用についての報道番組を見たことをきっかけに、水資源に関する政策に興味を持つようになりました。大学

に入って、特に洪水被害の抑制や発電、生活用水の取水といったダムが担う治水政策の在り方を研究しました。

ダム建設には、経済学で用いられる分析方法が関係しています。また、より適切な政策を考えるためには、法学や行政学など他の学問の知識が必要だということもわかり、物事を多面的、横断的な視点から捉えることの大切さを感じました。そして、それらのことを学べる総合政策学部喜びを覚えました。

4年生になって私は、治水政策に関しさらに奥深く学び、社会に役立つようになりたいと思い、企業に就職するという進路を変更し、大学院に進学することになりました。この4年間、中京大学で学んだおかげで、将来の夢や希望を抱くことができました。本当にありがとうございます。



情報理工学部
いなば けんじ
稲葉 健人

情報理工学部の講義では、特に微分積分を学ぶ解析学が難しく、友人達と一緒に考えて問題を解いたり、図書館に行き調べてたりしまし

た。私が、しばらく考えても分からない問題を諦めようとする時、友人がいつも叱咤激励してくれました。また、リン酸カルシウムについてグループで調べてきたことをプレゼンテーションする時も、夜9時過ぎまで大学に残り、役割分担して作業をしました。この時も、必ずメンバーの誰か一人が「頑張ろう」と言ってくれるので、励まされました。この経験が私に、仲間がいることの頼もしさ、個が集団になる時の力強さを教えてくれました。

今、私たちは夢と希望を持って、それぞれの道に向かって旅立ちます。旅の途中、夢と希望が重荷となって、心がくじけそうになる時があるかもしれませんが、その時は、旅の出発点である今日この日を思い出し、中京大学での4年間に背中を押してもらい、夢と希望を持って、また歩き出します。



ボール部男子 富田貴生(総合政策・香川・観音寺第一) 和田隆太(体育・愛知・豊川) 山田将也(体育・愛知・豊川) 三島知也(体育・兵庫・龍野) 深津悠平(体育・愛知・豊川) 杉本尚樹(体育・岡山・新見) 上田洋輔(現代社会・三重・久居) ▶ソフトボール部女子 藤本麻依子(体育・長野・木曾青峰) 藤井沙央梨(体育・兵庫・山崎) 長谷川朋子(体育・静岡・浜松市立) 森口綾香(体育・愛知・星城) 山本紋子(体育・愛知・聖霊) 荒屋えりか(体育・石川・津幡) 岡菜菜美(体育・愛知・尾北) ▶ソフトテニス部男子 木谷有希(情報理工・千葉・木更津総合) 尾形勝(体育・愛知・大同大) 藤本晃生(体育・岡山・尽誠学園) ▶ソフトテニス部女子 藤田佳那(体育・

田祐実(心理・愛知・中村) 林美穂(現代社会・愛知・光ヶ丘女子) 村上ちひろ(現代社会・愛知・西春) ▶スケート部 世界明斗(体育・愛知・中京大中京) ▶自転車競技部 榎原健一(体育・愛知・半田農業) 山本晴加(体育・福井・北陸) ▶サッカー部 福ヶ迫知秀(体育・愛知・中京大中京) 畑直樹(体育・静岡・科学技術) 須崎恭平(体育・三重・磐田東) 栗田真吾(体育・岐阜・岐阜工業) 石川誠也(体育・千葉・八千代) ▶アメリカンフットボール部 伊奈佑太(法・愛知・春日井) 横関正次(情報理工・滋賀・伊香) 池内勇仁(体育・山口・三島) 大石泰介(体育・大阪・関西大倉) 小西壮介(体育・大阪・清風) 徳永翔平(体育・兵庫・姫路路西) 中山拓海(体育・愛知・瑞陵) 松下祥貴(体育・愛知・高蔵寺) 吉川雄介(体育・愛知・新川) 神谷賢太郎(体育・愛知・刈谷) 木村直文(体育・愛知・緑) 早川智之(体育・愛知・千種) ◆文化会 ▶書道部 鬼頭裕美子(総合政策・愛知・聖霊) 近藤優輝(文・愛知・東郷) 豊嶋彩夏(文・愛知・中京大中京) 難波佑気(文・愛知・一宮興道)

山・星林) 小池隆志(体育・愛知・豊川) 柿沼慎二(体育・埼玉・埼玉栄) 大森洋翔(体育・北海道・北海道尚志学園) ▶ハンドボール部男子 岡田大輝(体育・三重・北陸) 荻葉貴裕(体育・愛知・桜台) 金井正真(体育・熊本・熊本マリスト学園) 小塩豪紀(体育・愛知・東海南) 清水登峰(体育・愛知・富田) 中野創介(体育・愛知・愛知) 瀧田尚悟(体育・高知・土佐) 古木拓矢(体育・愛知・春日丘) 安部昂大(体育・愛媛・今治西) 伊藤祐行(体育・愛知・祐誠) ▶ハンドボール部女子 平井花波(体育・愛知・星城) 稲石さち(体育・愛知・豊橋南) 喜多杏奈(体育・徳島・徳島市立) 近藤保乃佳(体育・滋賀・八日市) 南義知里(体育・富山・氷見) 山下薫(体育・岐阜・長良) 山中亜津沙(体育・愛知・星城) ▶ソフト

富山・高岡西) 佐々木遥(体育・愛知・和歌山信愛女子短期大附属) ▶バレーボール部男子 蓑輪貴幸(体育・福井・福井工業大福井) ▶バレーボール部女子 川島里華(体育・岐阜・九州文化学園) 角石友紀奈(体育・茨城・人間環境大岡崎学園) ▶アルティメット部男子 水野大輔(体育・愛知・明和) 長谷翔太(体育・愛知・瑞陵) 長谷川和哉(体育・愛知・小牧南) 中野翔太(体育・愛知・名東) 酒井柁昭(体育・愛知・春日井) 河野恭兵(体育・愛知・愛知) ▶アルティメット部女子 川中彩伽里(体育・静岡・御殿場南) 鈴木里奈(体育・岐阜・加茂) 加藤友希(体育・愛知・北) 岡田夏実(体育・愛知・中央) ▶フェンシング部 森下結衣(現代社会・岐阜・岐阜各務野) 石田佳子(体育・岐阜・羽島北) ▶ダンス部 孤

団体賞理事長杯
ソフトボール部女子
団体賞理事長杯 特別賞
水泳部
フェンシング部
創業者 梅村清明 体育会杯
山本聖途(陸上競技部)
創業者 梅村清明 文化会杯
囲碁倶楽部

2013年度 卒業式

3,019人の門出を祝う

2013年度の中京大学卒業式が3月19日、日本特殊陶業市民会館で午前と午後の二部に分かれて開かれ、学部生2,927人、大学院生92人の計3,019人が巣立った。春のうららかな日差しの中、卒業生らは学友や恩師と一緒に記念撮影をしたり思い出を語りあったりして、いつまでも別れを惜しんでいた。

式辞では北川薫学長が「中京大学の歴史は、留まることのない挑戦と改革の歴史だ。中京大学60年の歴史を、まさに体現して巣立つ皆さんが、母校に脈々と流れる『挑戦と改革』の精神を堅持し、閉塞感すら漂う現代を改革して欲しい」と激励。また、梅村学園の梅村清英理事長は「ヒト・モノ・カネが地球規模で動くグローバル化の展開の中にあって、時代の流れを読み取る力に磨きをかけてほしい。中京大学も新年度、開学60周年を迎え、『自ら考え、行動することのできるしなやかな知識人』を育成していく」



と祝辞を述べた。

この後、卒業生を代表して、午前の部では総合政策学部の高野裕貴さんが、午後の部では情報理工学部の稲葉健人さんが謝辞を述べ、感謝の意を表した。



喜びの各賞受賞者

学長賞

◆文[日本文] 舟崎哲夫(富山・富山南) [言語表現] 高尾昂平(愛知・半田東) ◆国際英語[国際英語] 坂美幸(岐阜・岐阜商業(県立)) [英米文化] 近藤真帆(愛知・一宮南) ◆国際教養 西尾恵莉奈(愛知・桜台) ◆心理 中西美穂(富山・福岡) ◆現代社会 重本菜摘(愛知・高蔵寺) ◆法市川美里(岐阜・岐阜北) ◆総合政策 高野裕貴(岐阜・長良) ◆経済 キムソク(愛知・外国の学校等) ◆経営 小林実央(三重・宇治山田商業) ◆情報理工[情報システム工] 矢野千晶(愛知・旭野) [情報メディア工] 磯部左弥花(岐阜・各務原西) [機械情報工] 稲葉健人(愛知・小牧南) ◆体育[体育科] 加藤友希(愛知・北) [健康科] 中村早希(愛知・中京大中京)

学部長賞

◆文[日本文] 福嶋理菜子(愛知・昭和) [言語表現] 村田千佳(愛知・豊丘) ◆国際英語[国際英語] 浦本咲(愛知・豊橋南) [英米文化] 森麻利江(愛知・昭和) ◆国際教養 野村瑞希(愛知・中京大中京) ◆心理 加藤麻子(愛知・菊里) ◆現代社会 清水望絵(愛知・富田) ◆法 相川翔太(愛知・阿久比) ◆総合政策 吉村さつき(愛知・緑) ◆経済 白井裕(愛知・松蔭) ◆経営 青木しほ(愛知・名古屋西) ◆情報理工[情報システム工] 緑田実由(京都・宮津) [情報メディア工] 赤尾恵里(岐阜・鶯谷) [機械情報工] 武

井翔一(長野・伊那弥生ヶ丘) ◆体育[体育科] 酒井征昭(愛知・春日井) [健康科] 加藤沙弥(岐阜・日ノ本学園)

同窓会賞

◆文[日本文] 梶野り花(愛知・名古屋西) [言語表現] 林真由(愛知・向陽) ◆国際英語[国際英語] 安部真梨奈(愛知・名古屋経済大高蔵) [英米文化] 堀部友来(愛知・豊田南) ◆国際教養 箕浦祥子(愛知・明和) ◆心理 古橋萌子(愛知・刈谷) ◆現代社会 塩見朋代(愛知・姫路) ◆法堀内美波(愛知・聖霊) ◆総合政策 松山ひとみ(長野・松本第一) ◆経済 大橋藍(三重・四日市) ◆経営 星野智博(愛知・西陵) ◆情報理工[情報システム工] 和田太陽(愛知・西陵) [情報メディア工] 清水浩貴(岐阜・長良) [機械情報工] 船越崇宏(愛知・高校卒業程度認定試験) ◆体育[体育科] 平井花波(愛知・星城) [健康科] 中村祥子(愛知・桜台)

優等賞

◆心理 後藤未来(愛知・向陽) 菊池綾子(愛知・半田) ◆現代社会 石戸谷流香(愛知・豊田) 鈴木安奈(静岡・浜松海の星) 伊藤こもも(愛知・武豊) 磯村祐太(愛知・刈谷) 金谷美里(愛知・旭野) ◆法 藤田有輝(愛知・阿久比) 中村優汰(愛知・旭野) 田中誉久(静岡・磐田南) 吉田杏純(愛知・高蔵寺) 野村倫子(愛知・安城東) 金子愛奈(愛知・時習館) ◆総合政策 三原優季(愛知・古知野) 山村友梨子(岐阜・長良) 小林詩奈(愛知・岡崎西) ◆経済 加納千鶴(愛知・向陽) 青木恵介(愛知・ウィザスナビ) 岩田直記(愛知・中京大中京) 永田有倭香(岐阜・加納) 平出正崇(愛知・岡崎東) 松岡未

希(三重・四日市商業) ◆経営 朝比奈那実(愛知・名城大附属) 鈴木智子(岐阜・東濃実業) 榊原瑞季(三重・松阪) 堀部晃司(愛知・小牧南) 竹之内祐美(岐阜・岐阜商業(県立)) 伊藤早紀(愛知・桜台) ◆情報理工[情報システム工] 藤井友紀子(三重・桑名) ◆体育[体育科] 岡田夏実(愛知・中央) 柳瀬孝彦(愛知・刈谷) 保坂美帆(愛知・西春) 樋浦有希(新潟・新潟産業大附属) 小椋敦子(愛知・中京大中京) 山本峻平(愛知・成章) 吉村真美(滋賀・八日市) 原剛輝(広島・広島なぎさ)

創立者賞

◆大学祭実行委員会 ▶ 豊田委員長 藤本敬人(情報理工・愛知・山田) ◆体育会 ▶ 幹事長 福井健治(体育・岐阜・中京) ◆文化会 ▶ 幹事長 佐合成美(文・岐阜・可児) ◆体育会 ▶ 陸上競技部 安部孝駿(体育・岡山・玉野光南) 遠藤克弥(体育・石川・七尾東雲) 勝山和成(体育・福井・足羽) 中西健斗(体育・静岡・浜名) 三輪将之(体育・愛知・中京大中京) 初木勝吾(体育・宮崎・宮崎工業) 山本聖途(体育・愛知・岡崎城西) 山元隼(体育・岐阜・大垣工業) 小椋敦子(体育・愛知・中京大中京) 小野寺佳歩(体育・北海道・常呂) 桐山智衣(体育・岐阜・岐阜商業(県立)) 辻七都子(体育・静岡・浜松商業) 近藤清貴(体育・愛知・中京大中京) 佐藤圭太(体育・静岡・焼津中央) ▶ 水泳部 保坂知世(体育・山梨・近畿大附属) 末永京香(体育・愛知・愛知みずほ大瑞穂) 佐野夏菜(体育・静岡・城南静岡) 金子葉(体育・神奈川・日本大) 雨宮未侖(体育・埼玉・春日部共栄) 秋元彩香(体育・栃木・大田原女子) 橋爪久司(体育・兵庫・洛南) 中谷尚樹(体育・和歌

伝統芸能や慣習など先人が築いてきた古今東西の文化にスポットを当て、その意義を追究しようと、「文化科学研究所」では現在、16の研究グループがユニークな研究を進めている。学内外の研究員のほか、翻訳家や作家などの専門家も研究に加わっており、シンポジウムなどを通じて市民に研究の成果を幅広く還元している。今回は、「児童文化研究グループ」「近現代ヨーロッパ文学研究グループ」「中国研究グループ」の3グループの研究活動を紹介する。

「文化」を追究



戦前の双六について議論する研究グループのメンバー

部の教員と協力し、体育と遊びの関係についてさらに詳しく探りたい」と語る。

遊びは職業に結びつくだけでなく、時には「悪」にも利用される。甘露研究所員は、太平洋戦争以前の男児の遊びで、小学校の体育の授業にも取り入れられていた「戦争ごっこ」に着目。「9人一組で敵と戦う『軍艦遊び』は、艦長が指示を出し、その艦長を8人の水兵が守りながら敵の艦長を狙うゲームだが、ゲームに勝った時の喜びや達成感を味わいながら、将来、子どもが軍隊に入った時に、容易に忠誠心を持つことができるように誘導する国の狙いがあった」と指摘する。

遊びが政治に利用されるようリスクを未然に回避するには、遊びの周囲に張り巡らされた大人によるシステムを注意深く読み解いていく以外にない。同グループの研究は、「遊び」というフィルターを通して、健全な社会の在り方を考える貴重な資料となりそうだ。



サブカルチャーから日本文化を発信

身近な話題で学生の関心促す

日本の漫画やアニメなどの文化が海外で高く評価され、英語や中国語のほか、ドイツ語やタイ語、韓国語など、世界の言語に翻訳されている。日本の漫画には、擬音語や言葉遊びなど外国語に翻訳するのが困難な事柄も少なくないが、どんな工夫をして読者に伝えているのか。文化科学研究所の「中国研究グループ」は翻訳論の生きた題材の一つとして、中国語を中心とした漫画やアニメの外国語版訳文化比較を行っている。

日本語で、人が振り向く様子を示す「くるっ」という擬態語。これに相当する擬態語のない中国語では「振り向く」という意味の動詞「回頭」を使って訳されている。一方、英語ではこれを敢えて訳さず、「くるっ」という日本語をそのまま残して描かれている。漫画の登場人物のしぐさで、「くるっ」というイメージを読者に理解してもらうほかはない。

明木茂夫・文化科学研究所長(国際教養学部教授)はこうした比較研究の成果を、翻訳論や異文化理解の授業に取り入れている。

「翻訳とは単なる言葉の置き換えではない。該当する言葉が存在しない時、どのようにしたら日本語の表現の意味を相手の国の人たちに伝えることができるのか。分かりやすい伝え方を、学生自身が外国語で伝えることが、まさに異文化理解につながる」と明木教授は語る。

漫画やアニメを通じた日本文化の良さを海外でより深く知ってもらうためにも、同研究所の果たす役割は大きい。



英語版
VIZ Media,2004



中国語版
台湾東販,2001

研究所 DATA

- 開設 1985年 研究員数 122人 ※内訳:所員41人、準所員81人
- 定期刊行物 紀要「文化科学研究」
- 学術講演会 『『万里長城』が『ワンリー長城』とはこれいかに?—社会科教材中国地名カタカナ表記の怪』、「馬琴の記録した『うつろ舟』はUFOだったのか?—伝説の科学的検証と、世界のUFO説話」(2013年度)
- 展示会 「硯と墨色の試み 中京大学収蔵 中国古名硯展示」(2013年度)

7つの研究力

生活に根付く



カリブ海地域とヨーロッパの文学を比較

苦難を乗り越える主人公の姿から異文化理解の可能性図る

貧しい子ども時代を送った主人公が人間的に成長していく過程を描いた小説は「教養小説」と呼ばれている。その地位を確立したのは英米やドイツだが、植民地時代の歴史を持つカリブ海地域の小説においても、「教養小説」の影響は否定できないという。

人間が子どもから大人へと成長する過程には、教育や家庭の経済事情、社会環境などの要因が影響する。さらに国が違えば、その国固有の歴史や文化が人間形成にも反映される。

カリブ海地域の小説は、白人からの人種差別やヨーロッパ圏以上の貧困が、主人公の自己形成に大きくかかわっている。劣等感に苦しみつつも、黒人として誇りを抱いて生きようしている思春期の子どもの、高学歴を得て白人社会でエリートとして出世することを望む母親を憎むようになる姿が描かれることもある。

「欧米と比べ、カリブ海地域の小説の主人公は、人種差別など植民地主義の影がアイデンティティの形成に深く影を落としている」。比較文学を専門とし、同地域の文学に注目する杉浦清文研究所員(国際英語学部講師)は、こう指摘する。現在、杉浦研究所員は「近現代ヨーロッパ文学研究グループ」に所属し、「教養小説」をキーワードに、地域文化の特性と人間形成との関係を地球規模の視点で解き明かそうと試みている。

どの国の人々も、苦難の伴わない人生などないだろうが、苦難の種類や乗り越え方にも地域による違いはある。文学を通じて相手のルーツや背景を知ることが、異文化間での相互理解を深めるヒントにもなるだろう。



大人への土台となる子どもの「文化」探る

「遊び」が仕事のきっかけに背後に潜む「危険」読み解く

子どもは遊びの中で喧嘩や仲直りをしながら人間関係構築の成功や失敗を学ぶ。また、競い合い、褒められて身体能力や音楽、美術などの才能を開花させる。「児童文化研究グループ」では、そうした子どもの「遊び」の性質を多角的に分析し、遊びが職業選択や組織のあり方にどのような影響を与えているかを解明しようと、「児童文化と遊び」に関する研究を進めている。

幼い頃、「銀行ごっこ」を体験したことを契機に、お金を扱う仕事に興味を持つようになった金融マン。パズルなどの知育玩具で遊ぶことで「図形」の面白さに目覚めた数学者。サッカーやフィギュアスケートのトップアスリートたちも、子どもの頃はボールを蹴っての的に当てたり氷の上でジャンプをしたりと、最初の目覚めは「遊び」だったはずだ。同グループの甘露純規研究所員(文学部准教授)は「スポーツに力を入れている本学には、体育に関する研究資料が蓄積されている。今後はスポーツ科学

市民の生涯学習に研究成果を



文化科学研究所の研究テーマはわたしたちの生活にも馴染み深く、本学オープンカレッジや学外の生涯学習講座などを通して市民に還元されている。明木所長は多治見市学習館の漢文講座を担当し、同学習館との共催で明木所長や甘露研究所員の講演会も実施されている。そのほか講演や講座などに応じることの可能な、主な研究テーマを紹介する。

| | |
|-------|-------------------------|
| 甘露 純規 | 明治文学史/文学における盗作について |
| 酒井 敏 | 児童文学研究/ライトノベル研究 |
| 鶴田 武志 | 80年代カルチャー |
| 大池 茂樹 | 書道文化 |
| 杉浦 清文 | カリブ海地域の文学/ヨーロッパ文学と植民地主義 |
| 明木 茂夫 | 中国古典音楽/漢文学・漢字学講座/漫画翻訳論 |
| 佐藤 隆 | 地域文化と文学 |



アメリカでの仕事も視野に 自信付け課題持ち帰る

「なぜ今の仕事に就こうと思いましたか?」「専攻が御社の仕事と直接関係がなくても、志望できますか?」。学生たちがニューヨークで訪問したのは、三井住友銀行やブルームバーグ、国連など13の企業の支社・支店と施設。将来自分が何の仕事をしたいのか探すため、各企業が力を入れているサービスや理念の説明を熱心に聞き、質問を重ねた。

3月5日に訪れた三菱商事の業務説明は、全て英語で行われた。「聞き取るのに精一杯で、質問までできなかった」。阿部朋子さん(経済学部1年)は悔やんだ。

約1週間後の11日、富士フィルムでも同様に英語で事業やオフィスの紹介が行われた。阿部さんは詳しく会社の業



語学学校で他国からの留学生と授業を受ける学生ら

務内容をチェックし直し、疑問点をあらかじめ英語で考えて備えた。「疑問点を全て聞くことはできなかったけれど、予習したおかげで企業側のプレゼンテーションの内容も理解できたので、後悔はありません」。

ビジネス研修では、支社長や店長からも話を聞く機会がある。ブックオフの木原優香・ニューヨーク店長は、大学生の時に体験した米・オレゴン大学への語学留学で友人ができたことがきっかけで、海外で働きたいと思うようになっ



国連職員から長崎で被爆した像や対人地雷の説明を聞く学生

たことや、4年前にロサンゼルスのお店に配属されて業務連絡を英語で十分に伝えられず必死に勉強したエピソードを語った。「何に興味があつて何をしたいのか、将来のことを考えて、自分探しをしよう。学生のうちに行動に移し、勉強に打ち込んで」とエールを送る。

小川鮎美さん(国際英語学部2年)は「店長という立場の人が話してくれるからこそ、言葉に重みを感じた。もう一度、自分が本当にしたいことを見つめ直したい」と、心に誓っていた。

積極的に発言が飛び交う語学学校の授業や時刻表通りに来ない地下鉄、厳しいセキュリティー検査など、日本と異なる習慣に戸惑いながら、生活の全てが英語の実践の場となった。地図を手に、現地の人に訪問先企業への行き方を思い切って尋ねると、「ニューヨークで会社を巡っているの?それは貴重な体験だね」と話しかけられ、世間話も弾んだ。

地下鉄の1週間乗車券が磁気不良で使えなくなってしまった神谷大輔さん(経済学部2年)は、駅員に改札を通してもらえるよう身振り手振りを交えて交渉した。「正しい文法でなくても熱意で通じることがわかったのは良かった。相手の文化を理解して、自分の考えをしっかりと伝えられるように語学力も磨いて、もう一度留学したい。海外で働く選択肢もできた」。意思が伝わる喜びを重ねながら、少しずつ自信が生まれる一方で、新しい課題が見つかる研修となった。

(広報課 松尾 璃瑛子)



ブックオフの木原店長からアドバイスを受ける学生

● ニューヨークの1日

| 9:30 | 11:30 | 13:30 | 15:00 | 16:00 | 17:45 | 18:45 | |
|----------------------------------|--------------------------------------|--------------|---------------------------|-------|--|------------------|-------------------|
| 移動 | 富士フィルム訪問 | 移動・昼食 | 国連見学 | 通学 | 語学学校 | 食事 | 自由時間 |
| 地下鉄E、S線とメトロノース鉄道を乗り継ぎ富士フィルム米州本社へ | 現地従業員が駅から送迎。事業内容の英語プレゼンテーション、オフィス紹介も | ピザやハンバーガーの昼食 | 厳しいセキュリティーチェックの後、会議場などを見学 | バス利用 | 授業はディスカッションや自国文化のプレゼンなど。食品マーケットへ出かけて会話練習したクラスも | 学校近くの日本食カフェで天丼など | 移動が多かったので早めに帰宅し自習 |

グローバル視点で将来像探る



ホンダ・フィリピンでラインの説明に聞き入る学生

春期休暇を利用した「海外ビジネス研修」は、将来就きたい仕事について具体的に考えることを目的とした本学国際センター主催の海外留学・研修プログラムだ。

今年も、比・マニラ(2/17-3/1)に6人、米・ニューヨーク(3/1-16)に12人(いずれも1、2年生)が参加。2週間の滞在中、学生たちは北米やアジアに進出している日系中心に約10の企業を訪問・見学。将来の目標に向けて今後の学生生活をどのように過ごすかの方向性をつかみ、語学学校で英語力を磨くなど、各自が成果を持ち帰った。研修の様様をレポートする。

※学年は研修参加時

で従業員満足度(ES)向上にも取り組んでいる。

同社では運動会や従業員の誕生日パーティなどの社内行事を開き、現地採用の従業員に受け入れられやすいよう、家族的な結束力のある企業づくりに努めている。大矢凌雅さん(総合政策学部2年)は「海外進出を成功させるには、語学力だけでなく現地と日本との文化の違いを理解し、従業員に働きかけることが大切と知った」と話していた。

研修と語学学校の合間には、博物館など郊外の観光名所を巡った。高層ビルが立ち並ぶ華やかな面と貧困な暮らしとのギャップを目にした。「日本での生活水準が当たり前ではないということを実感した」。廣瀬健志さん(法学部2年)は厳しい顔になった。

最終日に、伊藤製作所(金型製作)の現地従業員50人の前で、全学生が一人ずつ、出発前より上達した英語で研修の結果を、感謝を込めてスピーチした。小林由佳さん(心理学部1年)は、「明るく優しく接してくれるフィリピンの人が好きになった。またフィリピンに戻って来て交流を続けたい」と、再会を誓っていた。

(情報システム部 棚橋 猛)



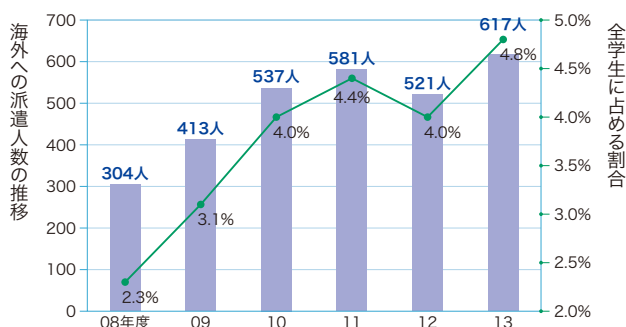
日本のものづくりに誇り フィリピンで異文化を理解

マニラには、トヨタ自動車や本田技研工業をはじめ、日本の製造業が多数進出している。学生たちはこうしたものづくり企業の工場を中心に11社を訪れ、製品ができるまでの過程を見学し、品質管理や海外進出の厳しさについて学んだ。

日進精機フィリピン工場では、フィリピンにある日系企業へ自動車、OA機器向けのプレス部品を納品している。高い精度を誇る日本の技術力を現地で伝え、一つ一つの作業をマニュアル化し、全品検査を行うなどして日系企業からの高い品質要求に答えてきた。社員のモチベーションを維持するため、研修を実施し、感謝をその都度伝えること

海外留学/ 研修プログラム

過去最高617人が参加



2013年度に海外へ留学または研修プログラムに参加した本学の学生は617人で、前年を約100人上回り、過去最高となった。全学生の約5%を占め、4年間の大学生活の中で、5人に1人が海外で学んでいることになる。

本学の海外留学、海外研修のプログラムは、目的に応じて参加できる全学部を対象とした

留学制度と、カリキュラム自体に海外留学が組み込まれている各学部独自の制度の2つがある。このほか、国際センターが主催している「毎日学べる英会話」や休み時間を利用した留学生との交流、TOEFL・TOEIC対策講座などのプログラムでも学生の目標や学習意欲を後押ししている。

しなやかに挑み続ける新生・中京大学

CHUKYO UNIVERSITY

2014
April

開学60周年。 愛すべき、誇るべき母校へ



海外ビジネス研修 【マニラ、ニューヨーク】

グローバル視点で将来像探る

富士フイルム米州本社のオフィスで話を聞く学生たち▶

7つの研究力 【文化科学研究所】

生活に根付く「文化」を追究

